

日本農民組合九州同盟會第九回大會

一、日時 昭和十一年四月二十三日 自午前十時四十分至午後三時四十分

二、會場 福岡市 記念館

三、參加者 代議員 六九三名

四、會場に掲げたスローガン

○皇道政治の徹底

○農村の興亡國家の興亡

○恒久的農村對策樹立

五、大會の内容

1、開會の辭 司會者 稻富稜人

日本農民運動の主義たる我が九州同盟會は茲に第九回の九州大會を開くに至つた、過去十數年農民問題の重大性を叫び運動し來つた吾々を危險視した財閥政黨が今や農村窮乏

打開を叫んで居る、これは時勢の力と吾々運動の賜であると信ずる農村亡びて國防なし、非常時打破は農村問題の解決にあり、それは吾々自身の力に依つてこそ救はれるのである。國家的運動として日農の責任重大なり、吾々無産階級の腹の底からの叫びは全國に大きな波紋を起すのだ、本大會を意義あらしめよ。

2、國歌合唱

3、議長、副議長選舉 司會者一任

議長 城戸 龜雄

副議長 藤崎 常吉

○議長簡票單に挨拶

4、書記任命 議長一任

書記 石井 米作